

## アクティビティの紹介) トンボ池

プロジェクト・ワイルドの指導者講習会は、子どもたちへ実践するときと同じようにアクティビティを体験しながら進められます。

説明力・論理力・合意形成力などを磨きます

- ① のどかなトンボ池を囲む街の住人（農場主、役場職員など）になり、新たに工場を建設しながらトンボ池を守る街づくりをします。なお、できるだけ参加者全員が納得するよう話し合います
- ② できあがった街について、他の街の住人に配置や注意した点や悩んだ点などについて説明してもらいます。それぞれの街が自然保護や工場排水などを考慮し、環境に悪そうな施設を下流に配置したのではないのでしょうか。そこでさらにトンボ池の下流に別のトンボ池があった場合について考えます。（図1）

表現力などを磨きます

参加者主体の体験型学習なので楽しく参加できます

結果だけを学ぶのではなく、そこに至るまでのプロセスを重視しているのが建設的に考える力が身につきます



(図1) トンボ池のつながり

体験からこんなことを学びます

- ① 土地利用が野生生物に与える影響
- ② 自然への悪影響を抑えるための人間生活への配慮の必要性

<企業のPR活動としての利用例>

このアクティビティの終了後に企業の排水処理方法などの取り組みを交えることで企業が環境保全に対する姿勢を理解してもらうことができます。また、企業が廃水処理している街や川など実際の名前を使ってこのアクティビティを進めると、より現実として理解してもらうことができます。

## プロジェクト・ワイルドのプログラム紹介

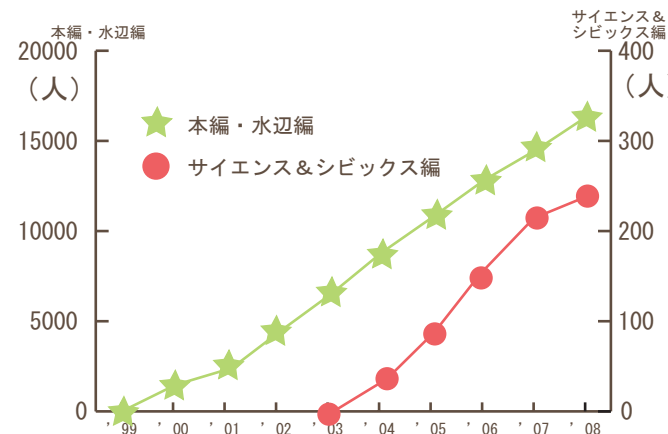
本編・水辺編とサイエンス&シビックス編のプログラムがあります。



野生生物（陸生・水生）とその生息地を模擬体験を通して環境を学ぶプログラムです。



科学と社会のしくみなどを包括的に学習し、環境問題の仕組みを理解し、解決するための知識と行動を起こす方法を学ぶプログラムです。



(図2) 指導者数の増加

プロジェクト・ワイルドの指導者数は年々増え続けており平成21年度現在約16,000人の方々に取得いただきました。(図2) 多くの方々の環境保全活動でプロジェクト・ワイルドをご利用いただいていることがわかんと思います。



# プロジェクト・ワイルド

企業のCSR活動と環境教育プログラムの融合

米国 NO.1 環境教育プログラム  
日本で 16,000 人が実践  
全国の教育機関や地域で活用  
状況に応じた多様なアレンジ  
環境教育推進法における人材認定等事業に登録  
(環境省・国土交通省)



Project WILD 事務局

〒106-0041 東京都港区麻布台 2-4-5 財団法人 公園緑地管理財団

Tel : 03-3431-4865 Fax : 03-3436-4548 E-mail : projectwild@prfj.or.jp

URL : <http://www.projectwild.jp/>

(2010.01.18)



財団法人  
公園緑地管理財団  
Parks and Recreation Foundation

# プロジェクト・ワイルドによる環境コミュニケーション活動のご提案

地球温暖化や生物多様性など環境に関する国民の関心は年々高まりを見せています。そのため、環境をテーマとした取り組みにも大きな注目が集まっており、環境保全活動を実施する企業が増えています。そのような中、「環境保全に係る活動を実施しているけれどもアピールが不十分」と感じられていたり、「活動を始めたいけれども方法がわからない」など模索している企業もいらっしゃると思います。そこで、環境教育プログラム「プロジェクト・ワイルド」を活用した環境コミュニケーション活動をご提案させていただきます。

《プロジェクト・ワイルドのアクティビティには以下の優れた点があります》

- ・遊びやゲームの要素を取り入れ、誰もが楽しく参加することができます
- ・科学的根拠に基づいています
- ・企業や地域の状況に応じたアレンジができます
- ・日本や米国での実績に基づく信頼を得ています（環境教育推進法の人材認定等事業に登録）

プロジェクト・ワイルドでは、ひとつ一つの学習プログラムをアクティビティ（活動）と呼んでいます。

## 社会貢献活動

プロジェクト・ワイルドを活用したイベントの企画や運営をお手伝いします。

### イベントの企画・運営

地域社会への貢献活動や一般の方に企業の環境保全活動を紹介するイベント、地域自治体や学校と協働で実施する環境学習講座への出張授業などにプロジェクト・ワイルドのアクティビティを活用することができます。

活用の仕方は大きく分けて2つ。

- ① 約200近くあるプロジェクト・ワイルドのオリジナルアクティビティを、場所や実施時間、対象年齢などに合わせた楽しいアクティビティを実施します。
- ② プロジェクト・ワイルドのアクティビティに企業の活動実例を取り入れてゲーム感覚で実際の企業の取り組みを知るアクティビティを実施します。



自然豊かなフィールドを活用する自然観察会や自然体験会では、勉強色を強くした環境学習することができます。



展示会などにおけるブース出展などでは、実施する場所（室内・室外または広い・狭いなど）に合わせたイベントを実施することができます。



出張授業では、アクティビティのアレンジにより、実施時間や対象学年に合わせて実施することができます。



企業見学や工場見学では、企業が実施している環境保全活動に直結したアクティビティを実施することにより、重要性をより深く理解してもらうことができます。

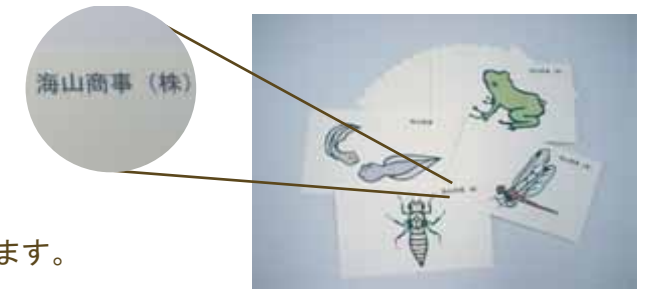
プロジェクト・ワイルド事務局では、全国で活躍しているプロジェクト・ワイルド指導者をご紹介させていただきます。また、ご要望に応じてイベントの企画から実施するアクティビティ内容のアレンジなどを致しますのでお気軽にご相談ください。

## 広報活動

全国で実施されているプロジェクト・ワイルドのアクティビティを通じて企業の環境保全に関する取り組みや商品に関する効果的なPRをお手伝いします。

### 企業のPR

- ① アクティビティグッズ（教材）に企業の名前を入れて配布します。
- ② 企業の環境保全に関連したアクティビティを実施し、企業の取り組みを紹介した後、関連したグッズを配布します。



## 人材育成

プロジェクト・ワイルド指導者養成講習会を通じた人材育成をお手伝いします。

### 社員のスキルアップ

プロジェクト・ワイルドの講習会では、環境教育指導者の資格を取得するだけでなく、社員一人ひとりの能力を引き出します。

- ① 講習会は参加者主体で体を動かしながらすすめていくので最後まで楽しく参加いただけます。
- ② グループ作業やプレゼンテーションの機会が多いため、表現力・説明力・論理力・合意形成力・変化対応力などを磨くことができます。
- ③ 最終的な結果だけを学ぶのではなく、『なぜ？』という内発的な疑問を促し、解決に至るまでの過程を重視した講習会なので、建設的に考えることができるようになります。



### 社会貢献活動を担うイベント実施者の育成



社員がプロジェクト・ワイルド指導者資格を取得すると、自前でプロジェクト・ワイルドを活用したイベントを実施することもできます。

※ 指導者になるには講習会を受講いただきます。詳しくはプロジェクト・ワイルドのホームページをご覧ください。

### 社員の環境保全に関する認識や理解の向上



リサイクル活動の推進や環境に配慮したエコ商品の利用など社員の環境問題に対する意識付けを促します。

